

OB会役員会の活動経過 とOB関連情報



(井は日時の確定しないもの)

7月1日 印刷依頼

14日 会報9号製本完成

15日 会報9号発送 (舟田)

8月21-23日 第6回蒲原良太郎追悼山行

(蒲原新太郎・道子 前田顧問)

33奥出 34奥 34片岡 34松浦 35吉田

36石川 36金井 36新倉 36朝日 36田中

36沢田 36檉村 36清水 36新道 37柴田

37新堀 37福田 37藤牧 37山本 37井上)

8月25日 40周年うちあわせ 元町ココス

(18椿川 15奥名 15舟田 23名倉 23鳥越

38宇根 38小林 38西馬 38吉原)

8月31日 実行委員通信・兼役員会通信NO.9発送

9月井総会配布物作成 (舟田・鳥越)

配布物印刷 (22山崎)

12-13日 ワンゲル創部40周年 医王の里

13日 記念山行 医王山

16-18日 現役小屋作業

16日 記念行事写真配布・原稿依頼 (舟田)

24日 スポーツ振興課へ作業報告 (舟田)

27日 12期大出徹氏滑落死亡

30日 大出氏葬儀

10月3-4日 山小屋酒場

(13辰野 3田村 13大島 13吉田 15奥名

15佐野 15舟田)

13日 役員会通信NO.10 発送 (舟田)

17日 スポーツ振興課より入金

21日 現役3回生とOB会役員懇親会兼

40周年うちあげ 兼役員会

柿木畠あまつば

(15奥名 15上馬 15舟田 18椿川 19梶

23鳥越 38宇根 38小林 38吉原

現役41期・市山 佐藤 竹内 田村 林

長谷川 森田 谷本 河村)

井 40周年会計報告・OB会会計報告作成

振込票記入 (鳥越)

井 宛名ラベル作成 (名倉)

井 印刷・製本 (プリントショップ多田)

1期 仙田 厚太郎

何時もOB会のお世話をいただき本当に有り難うございます。

この度も40周年記念行事の大変なお世話をしただき、本当に有り難うございます。心から感謝申し上げます。

この度の件、小生発信したものと思ひ込み、今日まで返信が遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。止むない所用のため、欠席せざるをえません。参加各位へ何卒よろしくお伝え頂きますようお願いするとともに、会の盛会を心から祈念申し上げます。

ここに心ばかりですが、酒肴代として送らせて頂きました。ご笑納下さい。間もなく(?)毎日が日曜日という日が来るようになれば、喜んで何にでも参加したいと思っています。今暫くのお許しを得ておきたいと思っています。

(OB各位、現役の皆さんにお伝えいただければ幸いです。)

今、40年と聞くと、時間の長さに驚きと戸惑いを感じています。

40年前、田村氏と鈴木氏の会津コンビが書いた1枚の貼紙(趣意書)、これが今日まで至るとは、夢のような心境です。

名簿を見ながら、こんなに多くの人々が、この会の歴史を作り、支えてきたのかと思う時、感慨胸に迫ると同時に、各位に心からの感謝の気持ちを捧げたいと思います。

歴史は勝手に出来るものではなく、間違いなく皆で作るもの。是非これからも、若い人々によって、この金大ワンゲルの永遠の歴史を作り続けていって頂きますよう、心から願ひします。

あの一枚 魅きつしもの 今もなお
色鮮やかに 集いし人の 心つなく

(事務局より… 多額のご芳志を有り難うございました。メッセージは総会にて披露させて頂きました。)

4期 森島 稔

9月に入って、朝夕は大分涼しくなりました。今回の40周年は天候もよく、盛大だったことと思います。10月3、4日の秋の山小屋酒場のご案内を頂きましたが、今回も断念せざるを得ません。何かと行事の多い月ですので。

舟田さんの細かい配慮と日々の負担の大きさを思うと、受け身の私の方は、恥じ入り、申し訳ない気持ちです。お許し下さい。今後ともよろしく。

7期 高見 よ志子

会員名簿は毎年送っていただかなくても結構です。隔年でよろしいかと思います(私は)。いつのまにか5年も滞納(実はOB会なるものの発足をあまり知らなかった-)して申し訳ありません。

8期 小谷 太平

勤務先が変わりました。



9期 平村 耕作

9月に入り少し朝夕が涼しくなった今日この頃です。いつもOB会のことではお世話をして戴いておりありがとうございます。

さて今回の40周年記念行事(昨年から楽しみにしていましたが…)、今また連絡を戴いた秋の山小屋酒場に欠席で、残念と同時に申し訳なくも思います。

今年3月にケガをして2ヶ月半入院し、ほぼ

今は元に戻りましたが、今はまだ自重しています。次回には、是非と思っており、今後ともよろしく願います。皆様によろしく。

<事務局より>お便りを戴けるのは何より嬉しいのですが…。

40周年はさておき、その他の行事につきましては、お知らせしなければ行事があることをお伝えできない。ではあるけれど、かえって心ある方に、心苦しい思いもさせてしまうのではないかと事務局なりのジレンマに陥っています。もちろん、郵送費、手間のこともありますし、絞るとすれば誰にまで知らせるか?にも悩んでいます。

昔、部室に行ったら、PW募集のチラシが下がっていて、見るのも気楽なら、乗るのも気楽でした。そんなタッチでやれないものだろうか?

その可能性を秘めているのがインターネットです。何を隠そう(?)、新OB会長はコンピューターを生業としているのです。これからの5年で、インターネットに連絡網をシフトさせていこう…と固い決意をしている割には事務局長の方は、こんなワープロ打ちに追われるばかりで、決意が空回りしております。

そんなオバサンの為にも、すべてをインターネット化にはいきなり出来ないのですが、希望はそういうことなのです。

11期 森川 功

T0 奥名

倉谷の月はどうだった? さぞかし酒がうまかっただろう! 今日「切手とおまけ」確かに受領した。依頼したより多く、ありがとう。

来年の15期会、桑名とのこと。桑名にいたら是非参加させてもらおうかな。

考えてみれば、ワンゲルの新歓は西村節ちゃんと一緒にだった。「何年生?」と質問され、「一年生」と答えたら、「なーんだ同期じゃないか」と言われ肩を殴られたのを覚えている。

(15期は恐い！)

それに大先輩の9期の白井さんも私と同じ小学校の学区にいる。白井さんの実家は確か、祖父江君の実家と10軒ぐらいいしか離れていない。

(昔の話) 倉谷の月はまだ、HPでゆっくり見せてもらう。

(編者特権…肩を「なでた」だけです。だって、「大学院」を省略して「僕、一年生」ってニコニコしてたのは森川先輩じゃないですか！何か老けてるし(わっ、スキーやばい)、かわいそうに何年浪人したんだろうと、アタシ同情して、思い切り明るく「同期じゃないの」って励ましたんですヨ。そう、これが30年後に明らかにされた真実です。何かまだ尾ヒレがつきそう…)

11期 向 幸子

遅くなりすみません。9月12日の医王山行き、参加したい気持ちでいっぱいなのですが、残念ながら他の予定があり、参加できません。次の機会を待ちます。



12期 河辺 憲次

OB会報「やまざと」98夏号お送りいただき有り難うございました。OB会費については、大出松世様より6月に連絡をいただき、すぐに送金させていただきました。ご確認をお願いします。

OB会の取りまとめ等、いろいろご苦勞されていることと思います。私の方はなかなかOB会に参加できず、皆様とはご無沙汰しております。今後ともよろしく願いいたします。

頑張ってください。

14期 伊藤 直和

勤務先が2度(名簿記載時から)変わりました。現在、那覇港湾 港工事事務所に勤務しています。

15期 高村 千佳子

金沢の方は梅雨明けを特別にしないそうですが、こちらは毎日暑いです。お葉書ありがとうございました。

8月8日から16日迄会社が夏休みでした。明石大橋を、私の運転で渡ってきました。まあ一歩くらいなら渡るのもいいものです。もっと安かったらもっと行ってもいいけど。あとは父のお墓参り、友達が遊びに来て、お昼を一緒に作って食べたり飲んだりと楽しかったです。

さおりの方はこの夏が山ということで夏期講習と、ない日は図書館通いです。

9月に皆さんに会える日を楽しみにしています。少しは歩いていないとバテるでしょうね。まだまだ残暑厳しいけど夏バテしないように！

16期 清水 重仁

山小屋酒場の案内ありがとうございます。残念ながら、法事や社内旅行のため、40周年、山小屋酒場共々今回は参加できません。来年は是非「便所」を使わせていただきます。皆様によりしくお伝え下さい。8月4日に御岳山へ登りました。

16期 山田 容子

日々、時間に追われる生活で「心のゆとり」が欲しいです。会報「やまざと」の発行、いつもご苦勞様です。通勤のコースから毎朝白山を望んでいます。四季折々の姿を見ることが出来、ほんと心安らげる時です。

17期 小間 八郎

会報9号にて、会費未納を知り、振込依頼人(妻)に確認したところ、バッグの底から昨年の振込用紙が出て来ました。他人(?)を当てにしたのが間違いでした。平成15年までの全納が可能ですか。可能なら会費に。不可なら、カンパ金として取り扱って下さい。お手数かけます。

19期 佐倉 正樹

現在、高岡高校山岳部の顧問をしています。この8月に四国高知で行われるインターハイに出場します。四国の山々は初めてですが、暑そうで心配です。

21期 竹中 敏

歌集受け取りました。どうも有り難うございました。

先日は突然伺いまして失礼しました。イラストを送ろうと思っていたら丁度出張になりましたので、それなら送るより持っていこうということにしました。

あの時雨がけっこう降っていましたが、白山はどうでしたか。今度は山へ行くために金沢へ行きたいと思います。

20期 中村 元風

OB会のお世話ありがとうございます。先日、甥っ子の村上友洋が、舟田さんに勉強を習っていることがわかりました。よろしく願いします。

《编者注；冷汗たらー。そういえば私は元風さんを写真でしかおみかけしていないけれど、お母さんと、トモ君たしかに、目元が元風さんにそっくり。やっぱり金沢は狭い！悪いことできない！

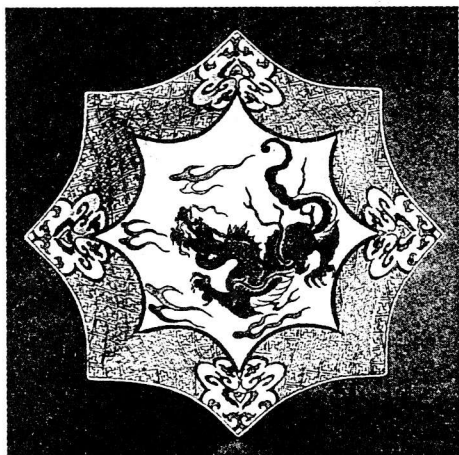
40周年総会の時には、大聖寺・実性院にて、今九谷色絵磁器展を開催しておいでました。)

第3種郵便物認可

平成10年(1998年)9月2日 (水曜日)

北

国



八角赤絵風雲龍図鉢

仕事を「今九谷」と名付けた中村さんは「古九谷を単純に写し取るのではなく、こうした陶工たちの心を解釈し、現代も見据えた仕事をしていきたい」と話している。

古九谷の創始者で、初代大聖寺藩主前田利治の菩提寺でもある会場には、鮮やかな色絵でトラや獣など躍動的な動物を描いた花器や鉢などが並び、江戸前期に作られた古九谷の名品も展示される。

中村さんは、古九谷を研究するにつれて、抜けるような白磁をめざしながら技術的な限界でかなわなかった古九谷の陶工の無念さが見えてきたという。自らの

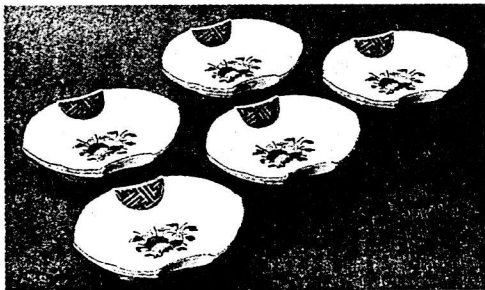
加賀市在住の陶芸家中村元風さんの今九谷色絵磁器展(北國新聞社など後援)は十二日から十五日まで、加賀市の実性院で開かれ、古九谷の気風を現代の感性でよみがえらせた力作約八十点が展示される。

中村さんは、金天大学院で生物学を学んだ異色の陶芸家で、祖父で日展参展だった中村翠恒氏から陶技全般を修得、彩釉磁器人間国宝の徳田八十吉氏に師事して修業を積んだ。

力作約80点を公開

古九谷の気風 現代に

中村元風さん
12日から加賀
で色絵磁器展



倣古九谷菱形柘榴文端皿

23期 窪川 淳一

残念ですが参加できません。再度5年間の予定で米国駐在となりました。国内連絡先を変更願います。

25期 細田 晴美

事務局の皆様、大変ご苦労様です。いつも難うございます。かけ足で過ぎてしまった40年近く。それなりにいろんな事がありましたが、またこれから…と、挑戦していきたいと思っています。機会がありましたら、またお会いしたいです。



29期 深井 嘉浩

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏はいかがお過ごしでしょうか？東京へ来てこの5ヶ月、いろんな国々を巡り、いろんな出来事に遭遇しました。今回アフリカで何度も耳にしたフレーズ”This is Life!”を胸にまた経験を積んでいきたいと思ひます。

では皆様もお元気で！

ps 私の勤務しておりますアルパインツアー「総合カタログ」最新版(夏・冬年2会発行約100ページ)同封させていただきます。私、本人も「金沢大学WV出身」としてツアーリーダーに紹介に登場しておりますので。是非ご覧下さい。

また、ネパール、ニュージーランド他、世界各地のトレッキングにご興味のある方へ、無料でご送付させていただきますので、アルパインツアー深井までお問い合わせ下さい。



深井 嘉浩
(ふかいよしひろ)

7年に渡る旅行業界経験の後、パキスタン、ネパールを中心に長い海外放浪生活へ。今年4月より思いも新たに業界復帰。持ち前のガッツでT/L業務も好評。金沢大WV出身。(東京)

30期 野田 和裕

ワンゲルOB会のこと、本当にお疲れ様です。金沢から遠方に居ますと、なかなか実態が理解できないので、つい適当なことを述べてしまいましたが、お許し下さい。さて、同期の住所の件ですが、中村の他に転居した者がいますので、同時にお知らせいたします。

(別便) お世話になっております。住所変更のお知らせがあります。北陸は天気が悪そうですね。山に行きたいのですが、仕事・家庭とも忙しすぎて、とても無理です。

(別便) また1名住所変更がありましたので、お知らせします。同期の一人から、会費を銀行振込でも可能にして欲しいとの意見がありました。一応お伝えしておきます。よろしく願ひします。

36期 蒲原 新太郎

36期蒲原良太郎の父です。会費送ります。よろしく願ひします。

36期 新倉 崇之

東京勤務のため、OB会の行事に参加できないながらも、遠き金沢・学生時代に思いをはせ、会報を読ませていただいております。今夏も8月21日-23日に剣岳に行つてまいります。

39期 友野 京子

「やまざと夏号」ありがとうございました。楽しく読ませていただきました。

ご報告が遅れましたが、私は昨年6月に38期の友野克利と結婚いたしました。今後は夫婦で「やまざと」を拝読させていただきたいと存じます。昨年秋には長女あやねが誕生し、現在9ヶ月になります。

幼い娘がいるため、40周年の行事に参加できず残念ですが、またの機会を楽しみにしております。

東京地区有志による懇親会模様

- 実施した日:平成10年9月22日(火)18時より3時間
- 声を掛けたメンバ:9期生を中心に東京近郊在住の20名程度
- 集まったメンバ: 9期 鍋島 武、清水 一、伊藤 博道、伊藤 俊成
11期 青柳 健二、北川 邦夫、上村 人史、山口 裕 以上8名
- 飲んだ酒量:みんな寄る年波(全員50才以上)に勝てないのか以外に少量?
- 話した中身:特筆することなし
 - ・金沢でのOB総会模様(たった一人の参加者青柳君からの話)
 - ・経済情勢(要するにどこの会社が不景気かの話)
 - ・今後の人生設計(濡れ落ち葉にならないための涙ぐましい努力)
 - ・健康の維持(医者が出たので本当に適当なアドバイス)
 - ・昔の話(古き良き時代の思い出話、仲間の行動の暴露)
 - ・仲間の消息(いずれも断片的で、今までの忙しさを物語る)
 - ・その他(他愛がないが、とにかく尽きることのない話)
- 確認したこと:これもいいかげんだが…
 - ・OB会への絶大なサポート(とりあえずできることは会費の納入、行事への参加)
 - ・気張らないで長続きできる本会の継続(これでも結構飽きもせず続いている。今回は山口が初参加)
 - ・鍋島が以外に心配りがきく男であること
 - ・中京/関西方面の仲間との会合(掛け声ばかりで何時になることやら)
 - ・プライベートなゴルフの実施
- 記念写真:見たくもないかもしれないがザウルスで撮影、出来が良くないのは被写体の所為



上村 青柳 清水 北川
山口 鍋島 伊藤(博) 伊藤(俊)

・みんな色が黒いのは露出不足、今度はもう少しマシに撮ります

15期会金沢大会（兼KUWV創部40周年記念）報告

15期同期会幹事 奥名 正啓

今回はほとんどOB総会と40周年記念行事で終始しました。15期会としては物足りなく思われた方もあったかとは思いますが、普段、あるいは卒業以来会っていない人達との再度の出会い。名前だけは聞いたことがあるが、会ったことのない人との出会い。この時期の医王山はもしかすると初めてだったり、大勢でのキャンプファイヤー……どれも大きな思い出の一つとして残ることでしょう。（それにしても、5年に1回では、あと何回参加できるだろう）

詳しい行事報告は、会報を見て下さい。尚、次回は祖父江君が幹事を引き受けてくれました。よろしく！！

やっぱり参加人数が多い方が断然楽しい。

上馬…不参加 参加の予定でしたが、体調が悪く不参加となりました。OB会では副会長を頼みました。今はとにかく、本来の体調に戻すこと。

宇野…参加 本人は不参加。新聞休刊日は何故か仕事となる（仕事の性格上、仕方がないとあきらめる）。奥さんの和子さんが参加。17期ではたった一人という寂しさを15期会がカバーしました。

奥名…参加 15期会とOB会をまとめてまとめて誤魔化そうという魂胆。予定どおり、これといって15期会のことは何もありませんでした。唯一、次の幹事へのバトンタッチをただ（これが重要）。

金井…参加 今回は行き帰りとも、輸送係。ありがとうございます。奥さんは大変元気そうでした。庭いじりも面白そうですが、人いじりはもっと面白いですよ。来年は是非参加を！

坂尻…参加 15期の代表連絡員としては今まで通りです。記念山行ではAコースのチーフを

頼んでありましたが、ぐちゃぐちゃになってごめん。

鈴木…不参加 インターネットを始めたが、期待したほどでもなくお休み中とか。KUWV OB会のHPを見て下さい。感想や近況をお知らせ下さい。

祖父江…参加 土曜日は昼まで診察をして、それからいざ金沢へ愛車をとばす。医王山までの地図をFAXした御蔭で、迷わず来られたが、「森の家」が判らず、総会終了時入場。

佐野…参加 無理矢理でっちあげた出張で、前日から金沢入り。私と同一行動（寝た布団は違う）のため、雑用をいろいろとお願いしました。

高村…参加 金井タクシーで、墓参りをしてから参加。今回は同期会対策が何もなくごめんなさい。午前中に哲ちゃん（佐野）と卯辰山に墓参りに行きましたが、どこだったか忘れて見つかりませんでした。

南保…不参加 何回か電話したが本人不在。ただし奥さんは在宅。気の毒がられてかえって恐縮。

比田井…不参加 上の子は海外（ボストン）。下の子を同伴で参加予定だったが、直前、子供に用事が入った。来年はおいでね！

舟田…参加 相変わらず動きが素早く、すべきことはすぐやる。私はというと、ぎりぎりまでやらない。個人的な山の便りを下さい。HPの一部に載せます。

増田…不参加 優良金融機関なので、地元住民のつきあいが重要。土日の方が用事が多い。役者はあなたがピカールです。都合つけて来なさい！

松下…不参加 多忙のため。永平寺からの帰り道、山越えて山中温泉へ。病院の場所を初めて知りました。

松縄…不参加 さくら銀行を救える人材は松縄
を置いて他にいないということで、特別欠席。
山小屋はいつでも君を待っています。(都合
つけて付き合います。)

松林…参加 上馬の不参加で急遽カメラマンを
頼みました。日頃からカメラは使い慣れているので安心でした。今回唯一のお子様連れで
同期会色を維持してくれました。

間所…参加 町田から公共輸送機関を乗り継ぎ
来沢。工学部正門前から迎えの車で医王山へ。
10-19期を代表して一言の重責を果たしましたが、私は酔っ払っていて内容の覚えはありません。

三宅…不参加 平日は本業に、休日は接待業に
ひたむき。給料は業績とともに下向き。

渡辺…不参加 上の子は海外留学、次の子は社
会人、下の子は体調不良。奥さんは???

横井…不参加 子供は中学生。人の子はとびと
びに大きくなってしまふ。次回はお近く。お
気軽にどうぞ!



「クマタカ」イラスト：竹中 敬

自然人No.45 より

第6回蒲原良太郎追悼山行に思う

'98. 8.21、22、23

父 蒲原 新太郎

ヨイショヨイショ、ハアハア、もう駄目だ、
こんな辛い事もう二度としないぞ。

そう思いながら、今年で6回目を数える剣へ
の道。剣沢の、テン場へ向かう道中での事。15
キロのリュックが、肩に食い込み、頭痛がする。
歯を食いしばりながら剣御前小屋までたどり着
いた。ハッと息を飲む。剣だ! 剣だ! 日常の生
活から離れ、心に染み込み、言葉で言い表せない
風景である。心の中で思わずつぶやく。

(良太郎、又来たよ。)と。

暫し休息の後出発だ。今度は下り。膝が笑い
出した。周りを見渡したら、妻道子がへばって
いるぐらいで、他の人達はマイペースで歩を運

んでいる。33期-37期迄の人達で、全員社会人
だが元気だ。悔しいけれど、やはり年の差だと思
う。

やっとの思いで、テン場に着いた。リュック
を下ろし、すぐテント設営をする。うまく出来
たと自画自賛。思い起こせば山の道具も、1回
目、2回目と殆ど何も持って来ず、皆に迷惑を
かけていた。初めは招待客のつもりでいたが、
今は違う。皆と仲間だと思っている。

その日の夕方、1回目の追悼式を、剣沢管理
事務所裏の小高い丘にて行った。(1日目の参
加者は、前田先生はじめ20名。)遺影の隣に花
を供え、そして線香に火を灯し、今回のリーダ



36清水 37柴田37福田37藤牧 36朝日36新道37新堀33奥出
 36沢田 36金井 36田中 36新倉 前田顧問
 37山本 34片岡 34松浦 35吉田
 36樫村 36石川 蒲原母 蒲原父 37井上
 第6回追悼山行 剣沢管理事務所裏にて
 撮影 34期 奥 民昭

一石川明弘君の進行で、私から順に御参りをした。晴れ渡った景色の中で、際立ち威光を放つ剣を目の前にし、つい目頭が熱くなる。妻も同じだ。冗談を言い合っていた仲間も、言葉なくなり、神妙な顔になってしまう。私とは違った意味で良太郎の事を思い出し、懐かしんでくれていると思う。

ここで皆にお礼を言いたい。毎年私ども夫婦を剣に連れて来てくれてありがとう。いつまで続けられるか分からないけれど、ずっと続けていきたい。転勤したり、結婚したり、又、良太郎に対する思いが年々薄らいで行くだろうけれど、絶えず皆と連絡をとりあっていきたい。そして皆の成長を見続けていきたい。

その日の夕食後も、例のシャカシャカが始まった。ワングルの伝統だそうだ。1回目の時、体調が悪く隣のテントで寝ていたら、突然シャカシャカと金属のこすれ合う音が聞こえてきた。リズムをとるでもなく、ひょっとして宗教めい

たことをしているのかと思い、後で戻ってきた妻に聞いてびっくり。食後のお茶と武器で食器を洗っているのだと。そんな笑い話も昔のこと。今では、自然に、普通にやっている自分がおかしい。

次の朝5時に、本峰を目指していざ出発。途中、剣山荘、一服剣、前剣を経て、カニのヨコバイ下の遭難現場に到着。2回目の追悼を行う。現場を見たのは今回で2回目だが、周りの岩だらけのガレ場、鎖場のカニのタテバイ、そして左上のカニのヨコバイ。雨が降った後などは、何時落石があっても不思議ではないなと思いつつ、良太郎は運がなかったと、ただただ思う次第である。

そして又、ここでも皆にお礼を言いたい。毎年追悼用の生花を用意して、こんな所迄運んでくれて有り難う。私は遭難現場に居合わせていないので、想像だけだが、実際居合わせたパー

ティーの人達は、どんな思いで見つめているの
だろう。

その件については、一度も口を開いたことは
ない。遭難救助隊の方の手記を読んだ事がある
が、とても生々しく、父親としては、とても読
んでおられずいたたまれない気持ちになった思
いがある。しかし母親は違う。全てを知りたい
様だった。その事については今後も話し合う事
はないだろう。

さて体力も限界に近づいた頃、ついにピーク
到着。10時40分。やったあー。天気も最高。遠
く槍ヶ岳、白山も見える。360度パノラマ状態
だ。本当に来て良かった。皆と握手しながら感
激。満足感で一杯になる。そして休憩後、下山
に向かう。気を緩めず緊張しながら、やっとの
思いで剣沢のテン場へ到達。15時。実に10時間
掛かってしまった。大変なスローペースで、同
時パーティーの人達に迷惑を掛けてすまないと
思う。テン場に着くと、2日目からの参加者3
名を加えて22名で、最後の追悼式を行った。

これを実際計画・実行するのは、大変な事だと
思います。人数も多いし、住所もバラバラ。金
大卒業後何年も経っているのに、部室も後輩も
使えず、苦勞しているみたいです。聞く所によ
ると、36期生が中心になっていて、会計は36期
樫村さん、用具保管は34期奥村さんが受け持っ
ていてくれています。そして何より心強いのは、
電子メールの連絡網があり、毎日のように連絡
しあっています。だからこそ、追悼山行が毎年、
廃れることなく続いていると思います。

最後に、私達夫婦は子供を失いましたが、そ
の代わり、皆さんと知り合う事ができました。
素晴らしい事だと思います。その御蔭で人生観
も変わりました。私達が一番好きな所は金沢で
す。そして剣岳です。追悼山行以外にも、皆さ
んと山行に行ったり、行動を共にしてもらって
います。心から感謝しています。今後とも宜し
くお願いします。そして、金大ワンダーフォー
ゲル部OB会が発展することを願います。

以上が毎年追悼山行で行っている内容ですが



蒲原新太郎さん 36田中
36新倉 34松浦 蒲原道子さん 36石川

小屋作業を終えて

小屋作業CL 41期 河村 浩之

9月16、17、18日の3日間、今年も小屋作業が行われた。

参加者は、1年14人、2年9人、3年7名の計29名である。今回の小屋作業は、自分にとって初めてのCLという立場の行事であり、いろんな面で勉強になった山行であった。

15日のパッキングの時から台風5号の影響で16日の天気がよくないことは明らかだった。現役部員（特に3年生）はCLの責任とばかりに、自分の方を睨んでいた。

16日は紆余曲折を経た結果、出発時刻を多少遅らせることになり（この際、出発判断の遅れで部員みんなに多くの迷惑をかけたことを、この場を借りてお詫びいたします。）、この日の高三郎登頂を諦める。

ダムからBHまでの道程は、自分としてはそれほど危険な道とも思われない。しかし去年1年生が2人滑落したということと、雨で滑り易くなっていることから、多少の不安があった。無事にたどり着くことができ、先ずは一安心した。

小屋に着いたくらいから再び僕をあざ笑うかのように雨が降り始める。結局この日は、夜になっても止まなかった。

17日の朝は、自分の予想からは大きくずれて大雨であった。昨夜の天気図を見ると、何故か自分の予定には入っていなかった低気圧が発生している。今日は一日中大雨であり、渡渉、ぬかるんだ道にかなり苦労することが予想できたが、自分を励まし出発する。

出発して30分たらずで、問題の渡渉地点へ到着する。先頭を歩いていた矢内は、沢の鉄砲水の様子を見てさすがに驚いていた。僕もこの鉄砲水を見ながら、この後の行動についてかなり悩んだ。このような時、他の3年生や、4年生

の方々がリーダーだったら、どういう決断を下すのだろうなどと考えていたら、無性に疲れてきた。1、2回生の一部の帰ったような顔は、うざったかった。

結局、自分の独断で、野郎だけで前進することにする。経験、体力を考えて、1年生の女子に渡渉させるのが恐かったからである。細引を張って沢を渡らせる。浅い所を選んだにも関わらず、水は腿を越えて足の付け根のあたりまできていた。僕はなるべく明るく事を運びたかったので、流れの中でこけそうになっている奴を笑いながらからかったりしていた。そしたら、長谷川に「笑い事じゃない」と怒られた。そのとおりだと思った。

この日の作業は、小屋の回りの作業をやる者と、高三郎の山頂の作業をやる者とに分かれて行うことになっていたので、引き返した人達には小屋の作業を手伝ってもらうこととした。

高三郎の登りは相変わらずきつい。雨のせいもあって予想より時間がかかり、自分としてはかなり焦っていた。1年生にとっては初めての高三郎である。いきなり大雨の中を登らされたこともあいまって、現役部員の高三郎嫌いはまたかなり進むことだろう。

結局頂上に着いたのは11時近かった。判っていたことだが、藪に囲まれた半径1mも空間がないようなピークにはうんざりした。その一方、ピークを見た時の1回生の茫然とした顔は面白かった。

昼食をとった後作業にとりかかる。北アルプスと白山方面の展望の確保を目指し、皆黙々と作業をする。

僕自身は、入山前にあらかじめ石川に作らせ高三郎頂上の看板を、古い看板と付け替える作業に取り掛かった。付け替えた看板は非常に上手く出来ていて、何か看板だけが周囲から浮いている感じであった。作業は皆狂ったように行い、約4時間、1回の休憩もとらず行った。

4時間後にはそれなりに満足のいく空間が開



42 伊藤	42 志賀	41 田村	41 矢内	43 加藤	41 竹内	43 清水
	43 矢田部					
43 小倉	42 角谷		43 杉村	41 長谷川		

撮影：41期 河村

4時間の奮闘後、真新しい看板（標識）の前で

けたが、ガスと雨のため、他の山は何も見えなかった。

3時に作業を打ち切り下山する。下山も雨のために思ったより時間がかかり、小屋に着いた時にはもう6時近くになっており、暗くなり始めていた。今さらながら、夏の終わりを実感した。小屋の周りもきれいに整備されており、こちらの作業も滞りなく行われていたことが判り安心した。小屋に着いたあたりからあんなに激しく降っていた雨が上がったが、そんなことはもうどうでもいい気がした。

その日の夕食は小屋に残っている人達に作ってもらっていたのだが、過去のワンゲルの食事の中で一番おいしかった。有り難うございました。

今回は小屋作業という行事の特性上、一部の部員には多少の無理をさせることとなりました。しかし自分の経験上、辛かったことや苦しかったことの大半は、後々の良い思い出となります。今回のことも、後から思い出せば、ワースト山行として良い思い出となることでしょう。まあ、これは作業が無事に終わった今だから言えることです。

最後に、今回の小屋作業の中で、僕の考え、決定を支持してくれた他の3回生には大変感謝しています。自分が今回CLをやってみて、今までの新トレのCL、夏合宿でLをやった人達の苦勞が初めて判った気がします。

